

徳洲会グループ病院研修担当のみなさん/薬学部学生のみなさん

「妊婦・授乳婦へ対する薬物療法の考え方」に関する薬学部学生の現状調査と

課題抽出のためのアンケートに関する研究について

この研究は、実務実習における教育プログラムで得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる学生さんお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2021年1月～2024年2月までに徳洲会グループ病院で実務実習を受けられた/受けられる薬学部学生さん及び各病院で薬学部学生さんの本研修参加とりまとめ等の調整を担当した/する薬剤師

2. 研究目的・方法

千葉西総合病院薬剤部では、徳洲会グループ病院へ実務実習において教育プログラムを受けられた/受けられる薬学部学生さんを対象としたアンケート等をもとに、「命にかかわる問題にうまく配慮しながらリスクコミュニケーションをとるスキルや考え方」をより深く学ぶことができたか、オンラインで複数の病院の対象者をつないでも同じ会場にいないことに対するデメリットはないか、また各病院で研修参加の調整等を担当した/する薬剤師を対象とした講義前後のアンケート等からも今後の課題を抽出することを目的として研究を行っています。

当該教育プログラムの効果を評価して公表することで、この分野に多くの人に興味を持っていただき、より多くの薬学生あるいは薬剤師が、このプログラムを受講することで、この分野で大切な命にかかわる問題にうまく配慮しながらリスクコミュニケーションをとるスキルや考え方を伝えることにより、次世代の子供たちを薬のリスクから守り、余計な不安のせいで新しい命を犠牲にする方が一人でも少なくなることを期待して行います。

研究期間：施設院長承認後から2025年3月まで

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、学生さんもしくは学生さんのご家族等で学生さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

講義に参加した徳洲会グループ病院で実務実習を受けている薬学部学生さんへのアンケート（講義前後の妊娠と薬に対する知識や意識の変化、講義前後のルーブリック評価を用いた自己評価）結果、講義前後の基礎知識の確認テストの正答率、各病院の研修担当薬剤師へのアンケート（病院の薬剤師の人数等の施設情報、講義に対する意見感想等）結果など

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び

関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

千葉西総合病院 薬剤部 副主任 三好 文子（研究責任者）

千葉県松戸市金ヶ作 107-1 連絡先：047-384-8111

（2023年3月2日作成（第1.3版））